

事業所名		多機能型事業所ひまわりコパンの杜				支援プログラム		作成日		2025 年		7 月		1 日	
法人（事業所）理念		医療法人ひまわり会札幌病院 今しかない一瞬を、みんなと分かち合い、保護者と笑い合い、明日につながる支援を提供する													
支援方針		お子さまへの「直接支援」と、施設職員さまへの「間接支援」を行います。 ご本人さま、保護者さまのお困りごとに応じて、通園・通学先だけでなく、児童クラブ等への訪問支援を行います。学習面や対人交流面、姿勢などについて支援員が対応致します。また、道具の導入や環境の設定など、環境面からのご提案も致します。													
営業時間			10 時	0 分	16 時	0 分	まで	送迎実施の有無		なし					
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・訪問先の生活の過ごし方なども確認しながら、生活習慣を意識して評価を行います。 ・運動面だけでなく、他者との会話や仕草から、ストレスなどの心的な反応にも注目して支援を行います。 ・作業療法士が必要に応じて個別のプログラムや環境設定をご提案します。													
	運動・感覚	・授業中の姿勢や道具の操作、その他の活動の様子を確認しながら評価を行います。 ・お子さまの感覚の特徴なども把握しながら教室の環境設定をご提案します。 ・必要に応じて、ご本人さまが活動しやすいように道具の導入をご提案します。													
	認知・行動	・作業療法士（支援員）が、お子さまの認知的な特性や環境からの情報を分析し、環境調整を行いながら支援を行います。													
	言語コミュニケーション	・実際の訪問先での過ごし方から、言語機能やコミュニケーションの評価を行います。 ・必要に応じて、ジェスチャーやカードなどの使用の配慮もご提案します。													
	人間関係社会性	・訪問先のご様子から、他者との交流がスムーズに行えるように支援を行います。 ・学習の場面だけでなく、委員会やクラブ活動、休み時間などの他者交流が必要な場面での支援を行います。													
家族支援		保護者さまが、お子さまの特性などを理解しながら、安心して「育ち」「暮らし」をすすめることができるようにサポート致します。 普段の支援の様子などを随時ご報告しながら、LINEを用いた相談にも対応致します。 児童発達支援管理責任者が定期的に保護者さまと面談をさせていただきます。また、必要に応じて作業療法士も相談にお応え致します。													
地域支援・地域連携		保育所等の子育て支援機関等の関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築をります。 適宜、児童発達センター、相談支援員、医療機関、学校との連携を図ります。													
移行支援		お子さまが安心して学校で過ごせるように、同年代の子どもとの仲間作りを図っているために支援します。 作業療法士が、具体的な移行を想定してお子さまの発達の評価を行います。また、その結果に基づき、ご家族さまへの情報提供や移行先、次の学年に向けての環境調整、子どもの情報・親の意向等についての移行先への伝達、学校との利用を併用される場合は利用日数や時間等の調整などを行います。													